



平成22年度(2010) 展示と催し物のご案内

ミュージアムさくら塾

開館20周年を記念して桜土手古墳群に関連した講座を
織り込み講演会を全6回開催します。

5回以上受講された方には、記念品をプレゼントします。

場 所 桜土手古墳展示館 時 間 13:30~15:30

定 員 70名(先着順)事前申込みが必要です。

詳細は後日広報はだのお知らせします。



國學院大學教授
小川直之氏
昨年度の受講風景

オススメの講師陣(題名は第1時限目以外仮題です)

<第1時限目>7月10日(土)・「後北条氏と相模中郡郡代大藤氏について」

講師:小田原市教育委員会 山口 博氏

<第2時限目>11月6日(土)・「桜土手古墳群の前庭について」

講師:群馬県桐生市教育委員会 加部 二生氏

<第3時限目>11月13日(土)・「桜土手古墳群の墳丘内石積について」

講師:専修大学文学部 土生田純之氏

<第4時限目>11月20日(土)・「桜土手古墳群の地域的意義」

講師:かながわ考古学財団 柏木善治氏

<第5時限目>1月22日(土)・「成人式のはなし」

講師:國學院大學文学部 小川直之氏

<第6時限目>開催日は調整中・「米倉丹後守について」

講師:駒澤大学文学部 久保田昌希氏

開館20周年特別展「発掘された秦野の古墳」

とき:平成22年10月9日(土)~12月5日(日) ところ:ミュージアムフロムナード

開館20周年を機会として、「古墳」という原点に立ち返り、これまでに市内で
発掘された古墳、横穴墓から出土した遺物の展示を行います。また、専修大学の
協力を得て、桜土手13号墳出土遺物の「里帰り」展示も行います。



ミュージアムさくら工房「土の器(うつわ)屋」

縄文土器作り教室をはじめました、あなた
も参加してみませんか!!

*7/24(土)成形、8/28(土)焼成

*12/4(土)成形、1/15(土)焼成

*定員各回10名(申込み先着順)

*大人対象

*参加費300円/1人

*事前の申込みが
必要です。

*申込み方法:7月1日
から電話で受付
0463-87-5542



ミュージアムさくら工房「こどもまが玉屋」

大人気の「まが玉」作りを今年も開催しま
す。あなたも挑戦してみませんか!!

*8/4(水)~8/6(金)

*一日の定員18名(申込み先着順)

*小学4年生~中学生対象

*参加費500円/1人

*申込み方法:

7月1日から電話
で受付

0463-87-5542



桜土手古墳公園と展示館のできるまでのご紹介

桜土手古墳公園と展示館は郷土の文化財を未来に継承し、文化財への理解を深めるとともに、桜土手古墳群及び秦野市周辺の古代史に関する学習を行い、歴史に関する興味と理解を深め、地域文化の向上に寄与することを目的に平成2年に建設されました。今年20周年を迎えるにあたり、桜土手古墳公園と展示館のできるまでを振り返りながら建設に携わった人たちの想いを、展示館だより「夏号」と「秋号」で紹介します。

基本計画以前

桜土手古墳群が存在するこの辺りは、塚原などの地名で呼ばれており、古墳が存在することは古くから知られていたようですが、江戸時代に編集された「新編相模国風土記稿」には紹介されていませんでした。

桜土手古墳群が文献に最初に紹介されたのは、昭和44年(1969)秦野市埋蔵文化財遺跡地名表で「水無川南岸の平地の広い範囲に立地し、数十基の古墳が散在する」と記録されています。

桜土手古墳が一躍有名になったのは、開発に伴う発掘調査を実施してからです。昭和49年(1974)～昭和52年(1977)に実施した第一次発掘調査では、19基の古墳を調査しました。

古墳はいずれも7～8世紀の円墳で、現地表面での観察ではごく小規模と思われた古墳が、発掘してみると思ったより大きく保存状態も良好でした。そして、東国の古墳時代後期の群集墳の姿を最も良好に表すものとして教科書にも紹介されました。

古墳群の存在する場所は工業専用地域にあたり、開発か保存かでしばらく議論が続きました。そして昭和60年(1985)古代遺跡と調和した開発計画として、古墳が集中する1.2ヘクタールの部分を古墳公園として整備し、博物館施設を建設するという計画が発表されました。



第一次調査(昭和49年～52年)の風景

秦野テクノパークのシンボルモニュメント

“まほらの奏で”



作者 故真板雅文氏の言葉

丹沢の山々に囲まれ、富士山と相模湾が望めるおだやかな地形の秦野に、古くから人が住み、文化財を築き育ててきたことをみると、美しい風景は、人の心を動かし常に新しいものを生み出すものです。

“まほらの奏で”と名づけた作品は、昔の人が大切にした大地に、今日までとぎれることなく続いた人々の夢の広がりや、樹木の成長に託して表現してみました。

西側の記念碑の丘は、先祖が眠る聖地を考えて、明日香の石舞台古墳やヨーロッパ等に見られるドルメン(新石器時代の古代人が作った墓標)、ストーンヘッジなどの巨石に感じられる、古代の謎を秘めた遠い昔の香りを演出してみました。

訪れた人達が、丹沢の山並みを眺め、古墳のもとで大昔をしのび、静かにゆっくりと、時の流れに身をまかせる憩いの場所となるように願うものです。

<桜土手古墳展示館へのアクセス>

小田急線茅ヶ崎北口より徒歩20分

” バス秦12 秦野飛行「古墳公園前」下車 徒歩2分

” 秦08 ” 「桜土手」下車 徒歩10分

小田急線秦野北口よりバス秦12 茅ヶ崎北口行「古墳公園前」下車 徒歩2分

” 秦08 ” 「桜土手」下車 徒歩10分

入館無料 開館時間午前9時～午後5時(月曜休館) 駐車場有

桜土手古墳展示館だより .36号

発行日 平成22年6月30日 編集発行 秦野市立桜土手古墳展示館

〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下380-3

TEL 0463-87-5542 FAX 0463-87-5794

URL <http://navi.city.hadano.kanagawa.jp/s-gakusyu/bunkazai>

